

認知症国家戦略に関する国際シンポジウム

International Symposium on National Dementia Strategy

日時：平成25年1月29日（火）10時30分～17時15分 会場：ベルサール九段 3階メインホール

プログラム概要

10:30-10:45 開会挨拶 田中 啓二（公益財団法人 東京都医学総合研究所 所長）
来賓 ご挨拶 とかしき なおみ（厚生労働大臣政務官）
安藤 立美（東京都 副知事）

第1部 『日本・イギリス・フランスの認知症国家戦略』

【座長】 松下 正明（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 理事長）
【コーディネーター】 西田 淳志（公益財団法人 東京都医学総合研究所）

10:45-11:10 「日本の認知症施策」
原 勝則（厚生労働省老健局長）
11:10-11:35 「イングランドの認知症国家戦略」
Alistair Burns（イングランド認知症戦略 クリニカルディレクター）
11:35-12:00 「フランスの認知症国家戦略」
Benoit Lavallart（プランアルツハイマー 実施監督責任者）

12:00-13:00 --- 休憩 ---

第2部 『オーストラリア・デンマーク・オランダの認知症国家戦略』

【座長】 大島 伸一（独立行政法人 国立長寿医療研究センター 総長）
【コーディネーター】 堀田 聡子（独立行政法人 労働政策研究・研修機構）

13:00-13:25 「オーストラリアの認知症国家戦略」
Russell de Burgh（オーストラリア保健高齢化省 高齢化・高齢者ケア局 次長）
13:25-13:50 「デンマークの認知症国家戦略」
Nis Peter Nissen（デンマーク・アルツハイマー病協会 エグゼクティブディレクター）
13:50-14:15 「オランダの認知症国家戦略」
Julie Meerveld（オランダ・アルツハイマー病協会 アドボカシーマネジャー）

14:15-14:30 --- 休憩 ---

第3部 『認知症のケアと医療経済分析』

【座長】 関山 昌人（厚生労働省老健局 認知症施策総合調整官）
【コーディネーター】 佐渡 充洋（慶應義塾大学）

14:30-14:55 「多職種協働による認知症地域ケア」
Anne Higgins（前英トラフォード区コミュニティ&ウェルビーイング コーポレートディレクター）
14:55-15:20 「認知症のコスト」
Paul McCrone（英キングスカレッジメンタル&フィジカルヘルス経済学センター センター長）

15:20-15:40 --- 休憩 ---

第4部 パネルディスカッション

【座長】 潮谷 義子（日本社会事業大学 理事長 [前 熊本県知事]）
【コーディネーター】 近藤 伸介（東京大学）

15:40-15:45 指定発言
大島 伸一（独立行政法人 国立長寿医療研究センター 総長）

15:45-17:10 ディスカッション
パネリスト：Alistair Burns, Benoit Lavallart, Russell de Burgh, Nis Peter Nissen,
Julie Meerveld, Anne Higgins, Paul McCrone, 松下 正明, 関山 昌人

17:10-17:15 閉会挨拶
飛鳥井 望（公益財団法人 東京都医学総合研究所 副所長）

全プログラムに同時通訳がございます。

閉会后、17時30分より懇親会を開催いたします（要事前申し込み）。



厚生労働省平成24年老人保健事業推進費等補助金
「認知症国家戦略の国際動向とそれに基づくサービスモデルの国際比較研究事業」

認知症国家戦略に関する国際政策シンポジウム

International Symposium on National Dementia Strategy

平成25年1月29日 (火) 10時30分～17時15分
ベルサール九段 3階メインホール

東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル TEL: 03-3346-1396

世界人口の高齢化にともない、アルツハイマー病等の認知症人口が世界規模で急激に増加しつつあります。近年、先進各国では認知症政策に関する国家ビジョンが示され、改革が急ピッチで進められています。この度、各国の認知症政策責任者らを招聘し、我が国の関係者とともに今後の日本の認知症政策を検討するシンポジウムを開催いたします。

主催 公益財団法人 東京都医学総合研究所

後援 厚生労働省, 東京都,

イギリス大使館, オーストラリア大使館, オランダ大使館, デンマーク大使館, フランス大使館

海外招聘演者

Alistair Burns イングランド認知症戦略 クリニカルディレクター (イギリス)

Benoit Lavallart プランアルツハイマー 実施監督責任者 (フランス)

Russell de Burgh オーストラリア保健高齢化省 高齢化・高齢者ケア局次長 (オーストラリア)

Nis Peter Nissen デンマーク・アルツハイマー病協会 エグゼクティブディレクター (デンマーク)

Julie Meerveld オランダ・アルツハイマー病協会 アドボカシーマネジャー (オランダ)

Anne Higgins 前トラフォード区コミュニティ&ウェルビーイングコーポレートディレクター (イギリス)

Paul McCrone キングスカレッジ メンタル&フィジカルヘルス経済学センター長 (イギリス)

第1部 『日本・イギリス・フランスの認知症国家戦略』

座長 松下 正明 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 理事長

コーディネーター 西田 淳志 公益財団法人 東京都医学総合研究所

第2部 『オーストラリア・デンマーク・オランダの認知症国家戦略』

座長 大島 伸一 独立行政法人 国立長寿医療研究センター 総長

コーディネーター 堀田 聡子 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

第3部 『認知症のケアと医療経済分析』

座長 関山 昌人 厚生労働省老健局 認知症施策総合調整官

コーディネーター 佐渡 充洋 慶應義塾大学

第4部 パネルディスカッション

座長 潮谷 義子 日本社会事業大学 理事長

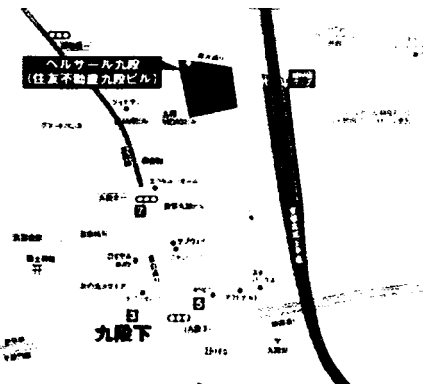
コーディネーター 近藤 伸介 東京大学

参加費無料

<ベルサール九段アクセス>

九段下駅5番出口徒歩5分 (半蔵門線・新宿線)

九段下駅7番出口徒歩3分 (東西線)



認知症国家戦略に関する国際政策シンポジウム

海外招聘者



Alistair Burns イギリス

保健省認知症ナショナル・クリニカル・ディレクターとして、2010年4月よりイングランド国家認知症戦略の実施を牽引。政策とサービス提供、地域ネットワークとNHSマネジメントの橋渡し役を担っている。認知症の人の行動・精神症状の重要性について早期に注目し、介護者に対する影響、薬物・非薬物療法の研究プロジェクトを率いた。マンチェスター大学老年精神医学分野教授。元国際老年精神医学会会長。



Benoit Lavallart フランス

第3次国家認知症計画の実施責任者として、各省庁間の調整・実施・評価をとりしきる。2012年12月に前任者 Florence Lustman の補佐官から現職に就任。Joel Menard 率いる同計画策定委員として策定に携わったほか、第1次（2001～2004年）、第2次（2004～2007年）国家認知症計画においても責任者として指揮を執った。EU加盟国の認知症の人の自律・尊厳・生活の質・健康のための欧州共同行動「ALCOVE」理事。老年科医。



Carolyn Smith オーストラリア

保健・高齢化省の高齢化・高齢者ケア局長。認知症を含め、自宅や入居施設で暮らす高齢者を支えるケアとサポート施策全般の管轄し、2012年7月から開始した高齢者ケア改革パッケージ「Living Longer. Living Better.」の実施責任者である（5年間の予算：37億オーストラリアドル）。2011年2月の現職就任以前は、2006年に設置された高齢者ケアの質およびコンプライアンス室にて、国が提供する高齢者ケアサービスの質向上に尽力。



Nis Peter Nissen デンマーク

デンマーク・アルツハイマー病協会のナショナル・エグゼクティブ・ディレクター。同協会は国家認知症行動計画の国会議決に向けてイニシアチブをとった。Nissen氏自身も2010年の行動計画策定に参画。その後も計画実施に関する諮問委員会をはじめ、さまざまな関連小委員会の委員を務めており、早期診断・認知症の人の自己決定・切れ目のないケア・家族介護者支援・スティグマからの脱却などの実現に尽力している。



Julie Meerveld オランダ

オランダ・アルツハイマー病協会のアドボカシーマネジャー。同協会は、全国認知症プログラムにおける認知症の人と介護者視点による課題抽出、家族介護者全国ニーズ調査、早期診断のための啓発活動、統合ケアのガイドラインやケア基準策定等にも積極的に関与。同国の認知症政策において重要な役割を果たす。24時間ヘルプラインや全国220のアルツハイマーカフェも展開。



Anne Higgins イギリス

グレーター・マンチェスター州トラフォード区役所 Communities & Wellbeing の前コーポレート・ディレクター。管轄した成人対象の社会福祉サービスは、医療機関や介護施設のサービスの質と安全性に関する国の査察機関「Care Quality Commission」により最高評価の excellent を受けているほか、2010年には IDeA（地方自治体改善開発機構）の Innovation 賞など受賞。現在、Tameside Hospital NHS Foundation Trust のノンエグゼクティブ・ディレクター。作業療法士。



Paul McCrone イギリス

医療経済学者。ロンドン・キングスカレッジ身体・精神疾患に関する医療経済学センター長。限りある財源で最大限に有効な医療保健サービスを提供するためには、経済的側面からも適切な視点が必要であるとの考えから、精神・神経疾患、プライマリケアの新規介入の費用対効果の評価（疾患のコスト評価指標、アウトカム評価指標、EBM、優先順位と配分）などを行う。

Russell de Burgh オーストラリア



オーストラリア保健高齢化省 高齢化・高齢者ケア局次長。2000年の入省以来、ほぼ一貫して高齢者ケア分野に携わる。現在は、認知症関連政策、文化や言語など多様な背景を持つ人々の高齢者ケアサービスへのアクセス改善、認知症ケアの質向上をはじめとする高齢者ケア分野の人材育成支援など、幅広い役割を担う高齢化および人材プログラム室長。